

日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会  
第 34 回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 実施日時 : 令和 4 年 10 月 31 日 (月) 13 : 30~14 : 10
2. 実施場所 : Webex による Web 会議
3. 出席者 : (敬称略)  
(出席委員) 久保 (主査), 浅見 (副主査), 北瀬, 村松, 道券, 溝渕, 影山, 清水, 吉田,  
市橋 (10 名)  
(代理出席委員) 武田, 高橋 (純) (2 名)  
(欠席委員) 木倉, 松本, 島, 山岡 (4 名)  
(常時参加者) 高橋 (秀), 南波, 樋口, 菊池 (4 名)  
(欠席常時参加者) 広瀬, 伊藤, 蓬田 (3 名)

#### 4. 資料

- 第 34 回輸送容器分科会議事次第  
F3SC34-1 第 33 回 輸送容器分科会議事録 (案)  
F3SC34-2 第 88 回標準委員会における倫理教育に係る意見交換について  
F3SC34-3 日本原子力学会標準 「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:2013」の文献調査の進捗状況について  
(参考)  
F3SC34-参考 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会 輸送容器分科会 (F 3 S C) 委員一覧

#### 5. 概要

日本原子力学会標準委員会原子燃料サイクル専門部会 第 34 回 輸送容器分科会 (F3SC) が開催され, 倫理教育に係る意見交換や「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:2013」に係る文献調査の進捗状況について議論を行った。

#### 6. 内容

開催に先立ち, 14 名の委員中, 12 名の委員の出席があり, 分科会成立に必要な委員数 (10 名以上) を満足している旨の報告があった。

##### (1) 前回議事録 (案) の確認 (F3SC34-1)

事務局 (高橋幹事代理) より前回議事録の内容が説明された。議事 (4) ②について, 参照する文書が有効であることの確認を先に行った上で, 最新の知見を反映不要かどうかを検討する手順がわかるように記載を修正する。

(2) 倫理教育に係る意見交換について (F3SC34-2)

事務局より倫理研修後の各委員の意見が紹介され、意見交換が実施された。

原子力従事者＝原子力学会員ではないことから、原子力学会に直接関与しない人に倫理規定やその考え方を認識してもらうことが課題と考える旨の意見があった。今回紹介された各員の意見を踏まえて、追加で意見がある場合は事務局に連絡するよう依頼があった。

(3) 日本原子力学会標準「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2013」に係る文献調査の進捗状況について (F3SC34-3)

事務局より、作業会における文献調査の進捗状況が報告された。

- ① AESJ-SC-F002 ではなく、AESJ-SC-F006 にのみある文献について、標準への適用性評価を実施した文献数は、66 件（全 82 件の約 80%）である。
- ② リサイクル燃料貯蔵分科会で既に調査済みの文献も含めた全体に対して、標準への適用性評価を実施<sup>注)</sup>した文献数は 87 件（全 131 件の約 66%）である。

作業会の開催頻度を上げて引き続き調査を進めることが確認された。また、委員より次のとおりコメントがあり、今後、調査を進めて資料にまとめる際に留意することが確認された。

- ・リサイクル燃料貯蔵分科会で既に調査済みの文献であっても、引用箇所が異なる場合には標準への適用性評価が変わる可能性があるため留意すること。
- ・別紙の一覧表について、文献調査結果の列に「一部見直し要」とあるが、議事の列にその詳細がわかるようにその判断となった理由も付け加える。

(4) その他

11 月に作業会を実施する予定であることが確認された。

以 上